

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム貝津

作成日: 平成 30年 10月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入居者様それぞれに担当の職員が決まっているが、ご家族が誰が担当なのか理解されていないように思える。担当職員とご家族の信頼関係を構築し、今後のホーム運営にも活かしていきたい。	担当職員の名前と顔を覚えて頂き、小さな困りごとや意見等も気軽に相談できる関係性を構築する。	居室入口に担当職員の名前と写真のパネルを掲示し、面会時等は、近況報告を行ない、何か困りごとやホームに対するご意見は無いか積極的にお尋ねし、解決策を職員で話し合いご報告する。	6ヶ月
2	1	職員の入れ替わりもあり、運営理念を理解しているものの、皆で読み上げ等行なう機会が無い。開設して16年目を迎え、新たな気持ちで理解し、日々の介護に活かす必要がある。	介護理念に沿った利用者様と共に楽しく生活できるような環境作り、利用者様やご家族様にとって安心出来る居心地の良いホーム作りを目指す。	月に1度のスタッフ会議の際に、皆で復唱し、今後の介護の場面で活かせるよう統一を図る。職員が定着しホームで働き続けられるような職場作りを行なう。	6ヶ月
3	6	玄関先や裏庭に自分で出られる入居者様が居られる為、随時、所在確認は行っているが事故や離脱が心配である。その為、死角になる裏口の鍵を施錠している。	身体拘束に対する意識を高める。また、不適切なケアや言動が見られた際は職員間で注意し合える環境作りを行なう。	裏口の鍵は施錠しない。身体拘束に関する勉強会を年6回実施する。	12ヶ月
4	35	ホーム内に掲示しているハザードマップが小さすぎる。又、職員が自衛消防隊の役割を認識していないとの指摘があった。	職員全員が火災や災害に対する意識を高める。	指摘があった当日に自衛消防隊の設備、及び組織図、ハザードマップの掲示を行い、職員全員周知を図った。	1ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。